『まなび』

松永生涯学習センター　学習情報紙　１０月号

２０1７年　平成2９年　１０月１日発行　NO.１９６

問合せ先　松永生涯学習センター

住所　福山市松永町三丁目１番29号

電話　０８４－９３４－５４４３

ファックス　０８４－９３4－８２５１

メールアドレス

matunaga-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

１ページ

１　「生涯学習への誘い」のお知らせ

演題　ふくやま文学館特別展「今井絵美子　人情と自然と」に見る時代小説の世界

講師　小川由美

とき　１０月１３日（金曜日）　１０時３０分から１２時

会場　松永図書館集会室（西部市民センター１階）

内容　気風がいい茶屋の女将，人間味あふれる町医者，江戸時代に息づいた義理と人情。福山市出身の作家が描く作品の舞台裏を学芸員さんに伺います。

主催　福山市松永生涯学習センター　福山市松永図書館

問合せ　電話　０８４－９３４－５４４３

FAX　０８４－９３４－８２５１

なお，特別展「今井絵美子　人情と自然と」は，ふくやま文学館で９月１５日（金曜日）から１１月２６日（日曜日）に開催します。

２　１０月の西部市民センターまなびサロンのお知らせ

（１）パネル展示「許すな！戸籍の不正取得」

　戸籍謄本や住民票の写しなどの個人情報を不正取得し，売買する事件が発生しています。個人情報の権利侵害を防止するため，福山市では「登録型本人通知制度」を実施しています。ぜひご覧ください。

期間　１０月１３日（金曜日）から１０月２７日（金曜日）

場所　西部市民センター１階エントランス

（２）「おりばらサロン」

どなたでもご参加いただけます。はじめての方も大歓迎です。

日時　１０月１３日（金曜日）１３時３０分から１５時

場所　西部市民センター１階サロン

問合せ　松永生涯学習センター

電話　０８４－９３４－５４４３

合言葉は「カープ　ヂェー（今日一日を有意義に過ごしましょう）

２ページ

１　報告

（１）ビッグサマーストーリー　～キミとつくる夏～

8月２６日（土曜日）に西部市民センターで，「ビッグサマーストーリー」を開催しました。

　パワフルサマーステージや，子どもチャレンジ広場など，さまざまなコーナーに「みて・ふれて・体験する」ことで，参加者みなさんに楽しんでもらうことができました。さらに福山市立大学のみなさんによる紙芝居では，平和の大切さを考える機会になりました。

　多くのみなさま，ご参加いただきありがごうございました。

この体験イベントは「ボランティアの活動の場」と「子どもたちの体験・発表の場」の提供を目的に実施しています。

（２）まつながさんぽ（柳津編）のお知らせ

まつなが応援隊「まつながColors（カラーズ）（２０代・３０代の方）を中心に，自分たちの住む地域のことを知っていこうと計画しました。今回は柳津の歴史について学びます。

楽しく交流をしながら，まつながエリアを歩き，地域の文化や歴史にふれてみませんか？

日時　１１月１１日（土曜日）１０時から２時間程度

集合　福山市柳津公民館　駐車場

講師　田口義之さん（備陽史探訪の会　会長）

コース　県史跡馬取遺跡，橘神社ほか。歩きやすい服装，飲み物持参でご参加ください。

対象　２０代・３０代の方を中心に，どなたでも

定員　２０人

参加費　無料

申込が必要です

申込み先　松永生涯学習センター

電話　０８４－９３４―５４４３

FAX　０８４－９３４－８２５１

Mail matunaga-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

認め合おう　みんな違って　あたりまえ

３ページ

情報びっくり箱

１　かむらコミュニティセンター（電話　９３４－３４４５）

（１）人権啓発講座　理解しよう，発達障がい

①

●テーマ　「認めることの大切さ」　あなたはあなたのままでいい

●とき　１０月２５日（水曜日）１８時３０分～

●講師　うみのひろさん（仮名）

②

●テーマ　「発達障がいの『本質』とは？　幼児期・学齢期・成人期それぞれの本人たちの思いに寄り添う

●とき　１１月２９日（水曜日）１８時３０分～

●講師　基幹相談支援センター　クローバー　相談支援専門員　永井智樹さん

＊いずれも

●場所　西部市民センター　２階ホール

●内容　発達障がいについて正しい知識をもち学習を深めていく

●対象　どなたでも

●定員　なし（要申込み）

●託児あり（要申込み）

●問合せ・申込み　神村コミュニティセンターへ

２　健康ふくやま21フェスティバル２０１７＆第４１回福山市緑化祭＆第４１回ふれあい福祉まつり

●とき　１０月２１日(土)２２日（日）１０時～１６時

●場所　緑町公園・ローズアリーナ

●内容　健康相談，リズム体操，ふれあいミニ動物園，福祉活動・施設の紹介と展示など，『健康』や『福祉』『緑のまちづくり』に関するイベントが盛りだくさん

●問合せ

福山市保健所総務課（電話　０８４－９２８－１１６４）

福山市健康推進課（電話　０８４－９２８－３４２１）

福山市公園緑地課（電話　０８４－９２８－１０９６）

福山市社会福祉協議会（電話　０８４－９２８－１３３３）

３　松永図書館（電話　933－3770）

（１）展示

①「秋に楽しむ映像化作品」

●期間　１０月６日（金）～１１月２０日（月）

●内容　芸術の秋・読書の秋にちなみ，映画などで映像化された本の展示と貸出

②「美人が絵はがき展」

●期間　１０月１８日（水）～１１月３０日（木）

●内容　揚州周延の千代田の大奥シリーズを中心に，鈴木春信や東郷青児など，女性をモチーフにして描かれた美人画絵はがきの展示

（２）１０月の定例行事

①あかちゃんといっしょのおはなし会

●とき　１０月９日（月）・１０日（火）１１時～１１時半

●対象　乳幼児とその保護者

②松永読書会

●とき　１０月１６日（月）１０時～１２時

●読本　「新編銀河鉄道の夜」

著　宮沢賢治　出版　新潮社

③さくらんぼの会（こどもの本を楽しむ会）

●とき　10月２３日(月)１０時３０分～１２時

●読本　「月にハミング」

　　　　作　マイケル・モーパーゴ

訳　杉田七重

出版　小学館

（４）図書館のお休み

１０月１７日（火）　休館日

４　放送大学　公開特別講座のご案内

●どの講座も受講料無料！

●場所　まなびの館ローズコム

●住所　福山市霞町１－１０－１　３階

●問合せ　放送大学福山サテライトスペース

●電話　０８４－９９１－２０１１

●FAX　０８４－９９１－２０１２

1回目

●とき　１０月７日（土）１０時３０分～１２時

●講師　中尾　佳行先生（福山大学教育センター教授）

●内容　騎士道・宮廷恋愛ロマンスを読み解く

2回目

●とき　１０月８日（日）１３時～１４時３０分

●講師　廣重　佳治先生（福山市立大学名誉教授）

●内容　心理学からみた常識の世界

４ページ

１　ふくやま人権大学2017のお知らせ

１１月は「子どもの生きる力になれるゼミ」

●４回とも

時間　午後７時から午後９時

会場　人権交流センター　３階

住所　福山市佐波町２６２－３

１回目

●とき　１１月７日（火曜日）

●テーマ　子どもの現状①　学習支援の取り組みから

●講師　NPO法人学習支援バパウス代表者　木村素子さん

●内容　「子どもの思いに垣根はない」経済格差が学力格差を生むといわれている今の社会の中で，生きづらさを感じている子どもたちが夢を持てる支援の取組についてお話いただきます。

２回目

●とき　１１月１４日（火曜日）

●テーマ　「子どもの現状②」居場所づくりの取組から

●講師　ゼノ少年牧場　子どもの未来応援事業　未来も笑おうプロジェクト

プロジェクトリーダー　佐藤勝則さん

●内容　近年は，貧困や外国にルーツを持つなど，様々な子どもの状況があります。ゼノは，松永で子どもたちと一緒にごはんを作るなど「居心地イイネ！」と思える居場所を作っています。今回は，この取組の経過や思いをお話いただきます。

３回目

●とき　１１月２１日（火曜日）

●テーマ　先生・家庭・窓口の人をサポート　ＬＧＢＴ当事者が語る“知ってほしいこと”

●講師　LGBT当事者で，もと保健室の先生　井上鈴佳さん

●内容　多くの人が多様性を認め合い，誰もが自分らしく自信を持って生きることができる社会の一端を担うべく，教職員研修会での講演や子どもたちへの出張授業など精力的に活動されています。今回は，ＬＧＢＴ当事者としての思いを伝えていただきます。

４回目

●とき　１１月２８日（火曜日）

●テーマ　ワークショップ「私はどうする？」子どもたちの生きる社会の中で（話し合い）

●内容　３回の講座をふり返り，生きづらさを感じている子どもたちに，かたわらにいるおとなの一人として，どんなサポートができるかを，みなさんと一緒に考え交流します。

２　ゲタなび

　松永最大のイベント，ゲタリンピックが台風で中止になりました。２４年目で初めてのこと。改めてチラシを見ると，楽しい催しがずらり並んでいました。企業など約６００の協賛をいただき“届けよう！集めよう！「ありがとう」”をテーマに準備を進めた実行委員会や，５０ものブースの関係者や，ステージの練習を重ねた出演者などの苦労を思うと実に残念。ただ，イベントとは苦労ゆえに「人を育て地域を温めるもの」と，いつも感じます。

　松永では，１００年以上前の１９０９年に第1回沼隈郡青年大会が開かれました。約１万人が集い社会の支柱となる若者が育ちました。その片鱗がゲタリンピックの要所に見受けられます。

　来年は快晴に恵まれ，６万人が集うこの「松永愛」に満ちた手作りイベントが成功し，関わる全ての人の苦労が報われますよう心から願います。

視覚障がいなどの理由がある人のために，営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。

以上